

和鉄の道 鬼に関する掲載記事の再整理 2018. 2. 3.

by Mutsu Nakanishi

2018 年節分に 仲間としての鬼に思う

「仲間としての鬼 - 鬼にされた製鉄集団 -」

「鬼は外 福は内」から 「福は内 鬼も内」へ

競争社会から成熟社会へ移行する日本に必要なのは

鬼に抱く日本人の心情・日本の縄文が育てた心のやさしさでは・・・

一万年も平和で豊かな生活が続いた時代 世界に類のない日本の「縄文」そのエンジンは「他人を思いやる心」
「鬼は外 福は内」と言いながらも、愛すべき鬼たちに寄せる心情が各地の鬼伝承・新春・節分の集落挙げての
追儼式・鬼踊りとして、現在まで延々と続いている。

これこそが日本人の心の故郷として縄文が育てた人類が生き延びてきた本能財産「心のやさしさ・他人を思いやる心」
である。 激変する国際社会の中で振り回され、核戦争の脅威に平和が脅かされる今 1 万年もの長きにわたって、
平和な永続社会を築いた縄文 そして愛すべき鬼たちの心情を考えてもよいのではないかと思っている。
積極的平和主義などというわけのわからぬ造語でまくしたてる人たちからは「なまっちろい 理想論」と言われようが
よっぽど現実的で事実の積み重ねなのである。

遠い昔の縄文や鬼たちの姿にまで さかのぼらなくても幾つも事実がある。

- 戦後日本が繁栄して今に至っているこの時代 戦争がない平和がもたらしたもの
- 今 介護の世界で 相手の目を見つめ、優しい笑顔で語りかけ、ハグすることが
認知症・脳細胞の活性・再生にきわめて有効であることが実践を通じて証明されつつある。

何度も取りあげた記事の再録で、home page にも掲載したのですが、
この節分の時期に 鬼にされた仲間の鬼への共感に日本の縄文を重ね合わせ、
日本の各地に残る仲間の鬼について、ほんの一部ですが紹介します。

たたら衆や山で働く金属採掘集団などが日本各地の鬼伝承のベースとして幾つも残っていて、和鉄の道を訪ねた時に、
何度も「鬼」ゆかりの地に出会ったこともあって、節分・2 月が近づくといつも日本の「鬼」が気にかかる。
古来から、日本では 人に災いをもたらす目に見えぬ隠れた者を『鬼・隠オニ』と呼んできた。
でも 災いをもたらす者とは立場・集団の思いによって数々の『鬼・隠オニ』が作られてきた。特に施政者・支配者と
民衆との思いには大きな差があり、鬼に寄せる心情も大きく異なり、民衆の思いが記録の残らぬ仲間の鬼伝承として広
く各地で受け継がれてきた。

いろんな鬼をざっと整理すると 次のような鬼の系譜が見える。

- ◎ **本来の鬼** 人に災いをもたらす目に見えない隠れた恐ろしい鬼
- ◎ **神や仏の化身の鬼** 神や仏に出会って改心し、神や仏の従者となって、神や仏の代わりに働く鬼もいる
- ◎ **奉らわぬものとして 施政者・統治者によって鬼にされた鬼**
- ◎ **里人の中に生まれた仲間の鬼** どこか間が抜けていて、悪さもするが、人や村を助けてくれた鬼
等々 日本各地に数多くの鬼が生まれた。

私はこんな中で「里人の中に生まれた仲間の鬼」が好き。 鬼とされたたたら衆の鬼伝承の多くもそんな鬼である。
本来「悪者・恐ろしい者」とされる「鬼」に対しても「仲間・親しみのある情」を抱く感情は、
幾多の積み重ねではあろうが、人類の人類たるゆえに本能的な「他人を思いやる心」に発し、
縄文人が育てた「心の深さ」にルーツがあると思っている。

(縄文が日本人の心の故郷と言われ、 また、1 万年の長きにわたる永続社会を築いた日本の縄文のベースであろう
また 一方 弥生人が我々日本人のルーツと思い込む人たちによって 縄文人も「鬼」にされた誤りもある。)

最近では「戦さを知らぬ縄文人」「心優しき縄文人」「日本人の心の奥深さ・多様なこころ縄文」などと耳にする機会
も多くなった。ぜひ、この鬼への心情のベースが日本の縄文の中にあり、世界に誇る「縄文」が世界遺産に登録され
ることを願っている。

ふっと現実に戻って今を眺めてみる。

最近激烈な競争の中で、自分さえよければ・・・と「鬼」を作り、排除してゆく構図が益々激しくなっていると感じることが多い。数の多さに傘を着た傲慢・仲間政治 どこか「鬼づくり」に似ていませんか・・・・・・・・

いじめの構図の中にも 仲間の鬼とは無縁の鬼づくりが見える。

仲間といつも一緒にないと不安な社会の中で、たえず「鬼」をさがそうとし、集団のそばに「鬼」がいると安心する。

一旦仲間から外れると 今度は自分が「鬼」にされてしまうとの恐怖感も。

ふっと立ち止まると、手が差し伸べられず、「鬼」にされた人がなんと多いことか・・・・・・・・。

そして、この構図の中に知らず知らずのうちに自分が巻き込まれていることにはっと気が付く。

最近のTV番組はひどい。公正と言われるTVニュースまでもが汚染に染まりぬいている。

自分も加害者になっていませんか・・・・・・・・ ちょっとそんな目でTVをみることも

ちょっとストップ。 立ち止まって考えよう。

あのすごい憤怒の形相をした蔵王権現三体を本尊とする吉野の金峯山寺ではどんな「鬼」も迎え入れる。

「福は内 鬼も内」 お互いがお互いを思いやれる社会 そんな穏やかな社会に早く舵を切ってほしい。

2018.2.3. 節分に from Kobe Mutsu Nakanishi

◎ 神戸の鬼 & 生駒山の鬼 神や仏の化身となって厄を払う鬼(追儺式・鬼踊り)



神戸の鬼 節分長田神社 追儺式



神戸の鬼 長田神社 追儺式



神戸の鬼 稲美野寺高菎寺追儺式



神戸の鬼 押部谷高和 性海寺 鬼踊り



生駒山の鬼 髪切り集落 慈光寺の鬼



神戸の鬼 妙法寺 追儺式

◎ 節分豆撒きで追い払われる鬼 & 退治された鬼の伝承



節分の鬼 故郷尼崎の大覚寺では豆を撒いて
鬼を追いかける身振り狂言「節分厄払い」



退治された鬼 大江山の鬼・酒吞童子
たたら衆との関連した伝承か?
2001年掲載の古い資料 久しぶりに取り出しました

◎ 日本各地に伝承されている鬼 鬼にされた愛すべき仲間の鬼たち



鬼伝承 鬼にされた愛すべき仲間の鬼 青森 岩木山(鬼山) 山麓 鬼の里「鬼」



古代 奉るわぬものたちとして「鬼」にされたたたら衆
や山を生業としてきた衆そして辺境の人たち等々。
愛すべき鬼・仲間の鬼たちや開拓神の伝承も日本各地
に残る。神になった鬼・神に仕えて、民を助ける鬼も
いる。

今回もそんな鬼を新たに訪ねて お伝えすることができ
ませんでした。今までに集めた「愛すべき鬼たち」

また 愛すべき鬼たちの中に縄文の心を見る。
一万年も平和で豊かな生活が続いた時代
世界に類のない日本の「縄文」 そのエンジンは「他人
を思いやる心」

日本人の心の故郷「縄文」北東北・北海道の縄文遺跡をユネスコ世界遺産に

ほんの一部ですが下記に。

「鬼」伝承やことわざに 縄文からの「日本人の奥深い心情」を見る

◎「仲間としての鬼」-鬼にされた たたら製鉄集団- <http://www.infokkna.com/ironroad/2014htm/iron10/1402oni00.htm>

◎「日本各地の鬼伝説」和鉄の道 掲載リスト <http://www.infokkna.com/ironroad/2013htm/iron9/13iron01list.pdf>

◎「日本人の心の故郷「縄文」 <http://www.infokkna.com/ironroad/2015htm/iron11/jyomon1slide.htm>

ちょっと立ち止まって見ると 愛すべき鬼たちの姿も 見えてくる。

スピード・恣意的な噂話に惑わず、ちょっと立ち止まっては・・・

2018.2.3. from Kobe





神戸の鬼 東播磨稲美 野寺高菌寺の鬼追式

A. 神戸の鬼 関西での伝承

- ◆ 節分 神戸の鬼 追難式・鬼踊り 神・仏の代わりに舞い踊り厄を払う
1. 神戸長田の森「長田神社の鬼」と 稲美町野寺「高菌寺の鬼」 2012.2月
1. 神の化身 7 匹の鬼が燃えさかる松明を掲げて舞踊る 神戸長田神社 節分・追難式 2012.2.3.
2. 仏の化身 赤鬼・青鬼 災い払う火の粉舞う伝統の鬼の舞 稲美町野寺 高菌寺 鬼追式 2012.2.10.
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/12iron02.pdf>
2. 神戸 神戸摂播国境 白川街道沿い「妙法寺の新年招福の追難式」 2013.1.3.
「妙法寺」に古くから伝えられてきた 10 匹の鬼踊 新年招福の追難式
3. 西神戸 押部谷 高和 性海寺 新春の修正会 追難式・鬼おどり 2016.1.11.
<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1602syoukaiji00.htm>
- ◆ 節分の鬼 身振り狂言「節分 厄除け」 2014.2.2. & 2.3
笛・鉦・太鼓のお囃子のリズムに合わせて繰り広げられる身振り・手ぶりの無言劇
- 京都壬生寺 壬生狂言・尼崎大覚寺 身振り狂言
<http://www.infokkna.com/ironroad/2014htm/iron10/1403setsubun00.htm>
- ◆ 生駒山暗峠周辺の髪切・鬼取の郷に鬼伝承を訪ねる 2015.1.25.
役行者に退治され、従者となった古い鬼 前鬼・後鬼
生駒山上の暗峠をはさむ大阪側 東大阪市髪切集落と奈良側生駒鬼取町
<http://www.infokkna.com/ironroad/2015htm/iron11/1502ikoma00.htm>
- ◆ 鬼の住む山大江山 酒吞童子 2001.8.12.
大江山の鬼伝説に Iron Road のロマンを掻き立てて
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/jstlbb06.pdf>



退治された鬼 酒吞童子伝説の大江 酒吞童子の生まれは 越後の弥彦山との伝承がある

B. 日本各地 鬼伝説 和鉄の道・Iron Road 掲載リスト 2013.1.15. 整理 & 2018.2.3 修正追記

<http://www.infokkna.com/ironroad/2013htm/iron9/13iron01list.pdf>

1. 日本各地の鬼伝説 鬼伝承の鬼は本当に悪者か??? 2003.2.3.

<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/jstlbb10.pdf> .

日本各地の鬼伝説 リスト

1. 伯耆国 孝謙天皇 鬼退治伝説 鳥取県 溝口町
日野川流域 楽楽福神社の伝承
2. 北上の鬼 蝦夷の雄「アテルイ」 岩手県一関・胆沢
坂上田村麻呂の蝦夷征伐
3. 丹後国 大江山酒吞童子伝承 京都府 大江町
4. 吉備国 「桃太郎伝説」の鬼ヶ城 岡山県総社市
5. 青森県 岩木山(巖鬼山)山麓の鬼伝説 青森県弘前市・鯉ヶ沢市

1. 溝口 鬼伝説と伯耆の国の製鉄地帯 ―日本最古の鬼伝説から― 2000.3.10.

孝霊天皇 鬼伝説 伯耆溝口 山陰 古代鉄の王国 - 伯耆の国 -より

<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/jstlaa05.pdf> P9-P11

2. 北上の鬼 蝦夷の雄「アテルイ」 2016.3.

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/1603tpb01aterui.pdf>

参考 蝦夷の鉄 <http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/ir3kc01.pdf>

参考 蝦夷の鉄 東北の和鉄の道 9 編まとめ 2004.1.

<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/4iron06.pdf>

3. 丹後の国 大江山酒吞童子 2001.8.12.

大江山の鬼伝説に Iron Road のロマンを掻き立てて

<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/jstlbb06.pdf>

4. 吉備国 「桃太郎伝説の鬼ヶ城」 2010.1.15.

<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/10iron02.pdf>

5. 古代鉄の大王国 津軽 岩木山北山麓 鬼伝説と古代津 軽の大製鉄地帯 2000.3.

<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/jstlaa06.pdf>

● 弘前ねぶたと岩木山北麓 鬼伝説の里 鬼沢 鬼神社・十腰内 巖鬼山神社を訪ねて 2000.8.

<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/jstlaa08.pdf>

2. 弘前ねぶたと 岩木山北麓 鬼伝説の里 鬼沢 鬼神社・十腰内 巖鬼山神社を訪ねて 200.8.4.

<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/jstlaa08.pdf>

3. 蝦夷の鉄・東北 和鉄の道 東北地方 和鉄の道 9 編 取りまとめ 2004.1.18.

<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/4iron06.pdf>

4. 蝦夷の雄「アテルイ」の足跡 「清水寺・將軍塚」 2006.2.9.

<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/6iron03.pdf>

5. 日本人の祖先の一部 節分の「鬼」 From Kobe 2008 より 2008.2.3.

<http://www.infokkna.com/ironroad/2008htm/walk5/0802oni00.htm>

6. 今年も節分の鬼によせて 「福は内 鬼も内」 From Kobe 2008 より 2010.1.30

<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/mutsu/fkobe1002.pdf> .

7. 越後弥彦山の開拓神伝承 酒吞童子は弥彦山の生まれとの伝承 2007.5.16.

日本三彦山の一つ 越後 弥彦山 Walk 古代鉄の国「越」 弥彦山に鍛冶神の痕跡を探して

<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/7iron10.pdf>

2018.2.3. by Mutsu Nakanishi 整理